

# ひまわり通信



2014年度 9月 第6号

まだまだ暑い日もありそうですが、少しずつ日も短くなり、朝晩は涼しくなってきましたね。夏の暑さが落ち着くこの時期は、夏の疲れも出やすいので、お子さんには出来るだけ体を休められる配慮をしてあげてくださいね。

今回のひまわり通信では、『わらべうた』についてです。

うーさぎ うさぎ

「う～さぎ うさぎ なにをみて はねる 十五夜 お月様を 見て は～ねる」

ぴよん ぴよんとはねてあそぶ、この「わらべ唄」は小学校唱歌にもなっているので、広く知

られていますね。

この唄は、古くからうたわれてきたもので、満月になると、地上のうさぎが自分たちも月に

向かってとびはねているようすをうたった唄だと言われています。

## ○あそびかた○



あかちゃんが立って歩くようになり、それからぴよんと跳べるようになったら、

「ぴよん ぴよん ぴよん」と声をかけてやります。

すると子どもは喜んで何度でも、ぴよんぴよんと跳んでみせます。そして続けて跳べるようになったら「この唄」をうたってあげると良いでしょう。

3歳ごろからは、うたいながら、額に手を立ててうさぎの耳をつくり、膝をくっつけて、はねるたびに、手を前にたおしてぴよんぴよんと、はねて遊びます。

今年の十五夜は9月8日(月)だそうです。

その日はご家庭でお月見をしながら、ぴよん ぴよんとはねてみるのもよさそうですね。

### ●保育園にいつでも遊びにきてくださいね●

\*お悩み相談もやっています。困っていることがありましたら、お気軽に声をかけてくださいね。

大崎ひまわり保育園 03 3495 7600 担当：石上

